

## 沖縄県高等学校総合体育大会 その1(観戦記)

5月27日の総合開会式を皮切りに、いよいよ沖縄県高等学校総合体育大会が開催されました。

5月28日の朝、車を飛ばし沖縄水産高校でのバドミントン競技団体を応援しました。男女とも1回戦勝利したのを見届け、次に奥武山運動公園の水泳競技を応援、森根拓万君(2-6)が予選を3位で通過しました。次に同公園内で男子テニス団体を応援、1回戦は終始自分たちのペースで試合を運ぶことができ圧勝、それを見届け、女子テニス団体を応援に行きましたが惜敗しました。

男子は、2回戦シード校を相手に接戦で勝利し、3回戦を強豪と(終わってみればこのチームは準優勝チームです)対戦し接戦の末負けました。

5月29日、また車を飛ばし名護市の21世紀の森ラグビー場にラグビー部の応援に行きました。ラグビーは個人的にも大好きな競技ですので胸を躍らせながら観戦しました。本校は他3校との合同チームでしたが、伝統ある相手チームに一步も引けを取らず善戦し、トライ数同点でしたが惜敗しました。

次に本校で行われていたサッカー競技の応援です。開始直後に間に合う事ができました。前半、後半ともに1点を得点するという理想的なゲーム運びで勝利しました。強風の中での試合の組み立てに監督の采配が光っていたと思いました。

5月30日、サッカー競技の応援に恩納村の赤間サッカー場に午後から行きました。到着すると競技場で応援の生徒達が声を枯らして声援を送っていましたが聞くと0-2で負けているとのこと、その直後に1点を追加されてしまいました。後半は善戦し、光る個人技で終了直前に1点を返しましたが負けました。

スポーツ観戦の醍醐味は競技場でのそれにつきます。なぜなら、必死で戦っている選手達と同じ空気そして息づかいを感じることができるから。また、応援している人どうしのたった一つの目標のために同じ時間を共有しているという一体の快感です。

生徒、選手の皆さんは1年間この日のために努力してきました。努力は必ず報われるわけではありません。ただ、努力をしなければ報われることもありません。競技場で、生徒達に「最後は、勝つ気の勝つのが勝つ 勝つ勝つ勝つ ぐしかわのか」と檄を飛ばしました。

努力の過程は人をつくり、結果は思い出を作ります。全力で戦い抜いた生徒、選手達そして部顧問の先生方に感謝の意と拍手を送ります。

